

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和5年2月16日

事業所名: 児童発達支援センター

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			お子さんの発達の様子や人数に合わせてグループ分けをさせていただき安全に療育を行えるようにしています。	87%	6%	0%	6%	いつも同じ部屋なので他が分からない。	小集団療育は安心してお子さんが過ごせるよう基本同じ部屋を使っております。個別療育では子どもさんの特性や課題に合わせて諸室の活用を行っております。 保育士、児童指導員、作業療法士、言語聴覚士が療育に当たっております。
	2 職員の適切な配置	○			安全に療育できるよう利用者の人数に合わせて職員配置を調整しています。	77%	6%	0%	16%	スタッフがどういった専門を持たれているのかわからない。 多いと感じますが必要なのだろうとも思います。 いつも同じ部屋なので他が分からない。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○			施設はバリアフリー化しており、利用される方にわかりやすい環境を整えております。	81%	10%	0%	10%		
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			1クラスの療育終了後には、室内の掃除、玩具や机、椅子等の消毒を行うようにしています。 換気については常時窓を開け、換気扇を回すようにしています。	100%	0%	0%	0%		
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			小集団療育の前後にスタッフでミーティングを行い、チームで療育をすすめていけるようにしております。	/	/	/	/	/	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	○			四国中央市子ども若者発達支援センター運営審議会にて運営状況等について審議しながら運営しております。	/	/	/	/	/	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			講師をお招きして公開保育を行い、講師からアドバイスをいただいたり、外部での研修会に参加したりしています。	/	/	/	/	/	
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			保護者からのききとりを丁寧に行っていくようにしています。	100%	0%	0%	0%		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○			児童発達支援ガイドラインに基づき、計画を作成しています。	93%	3%	0%	3%	その日に行った活動内容は報告があります。が、いつまでに何をしていくのか？いつまでかかるのか？分かりません。	成長のペースは一人一人違うので、年間目標を踏まえ、半年間で見えていく目標及び支援内容をお伝えしております。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○			小集団療育ではグループごとに月案を作成し療育しています。また、担当による個別療育のなかで、一人一人の発達の様子を保護者と共有するようにしています。	/	/	/	/	/	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	○									
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○			利用しているお子さんの殆どが就園しています。就園時や就園してからも在籍園と定期的に連絡会をもつようになり、安心して地域での生活が送れるようにしています。						
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○			必要に応じて対応しています。						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○			関係機関主催の研修会に参加したり、センター内に講師を招いての研修を実施したりしています。						
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	○			未就園児対象で地域の園で行事交流を行っていましたが、コロナ感染症の流行に伴い、中止しています。	31%	0%	10%	59%	コロナ等もあるので仕方ない所もある。コロナが落ち着いたらできると良い。	感染症が落ち着いたら再開できるようにしたいと思います。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			○	以前は市が主催している「子育てフェスタ」にブースを出していましたが、コロナ感染症の流行に伴いイベント自体が中止となっています。						イベントが再開したら、何らかの形で参加したいと思います。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○			利用負担金については契約時に個別にお伝えするようにしています。支援内容についてもその都度、お話をさせていただいております。	100%	0%	0%	0%		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○			作成後に個別に説明させていただいております。	100%	0%	0%	0%		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	○			親子での療育となりますので、お子さんと一緒に参加してもらいながら遊びを通してかかわり方について一緒に考えたり、支援内容を振り返ったりしています。	60%	3%	7%	30%		遊びを通してお子さんとのかかわり方を共に考えていければと考えています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	○			療育内でのお子さんの様子や家庭生活、集団生活での様子などについて話をし、保護者との共通理解を図っています。	94%	6%	0%	0%	療育だけで終わる事が多いので先生達ともっと話したい。	ご希望に合わせて日程を調整し、個別にお話をする時間もとっております。
	5	○			必要であれば適切な機関へつながるよう支援しております。	87%	3%	0%	10%	毎回説明していただいています。家庭ではどのようにしたらいいのかももう少し助言いただくとありがたい。	定期的なモニタリング、アセスメント以外でも、相談やお話ができれば随時対応しております。
	6			○	保護者会の活動はありませんが、保護者研修を検討しております。保護者同士の連携につきましては、同じ利用日の保護者同士が気軽にお話をできればと考えています。	7%	10%	14%	69%	個人的には保護者会はあまり希望していません。経験がないのでわかりません。保護者会等開催は難しいと思うのですが、保護者同士のつながりは少ない様思う。	コロナ禍以前とは違った形での、保護者同士のつながりができるようなものを考えていきたいと思っております。
	7	○			契約時に苦情やご意見・ご要望についての担当者及び解決責任者等についてお伝えしております。	27%	10%	0%	63%	経験がないのでわかりません。	令和4年度は12月現在、特にありませんでした。
	8	○			必要に応じて個別に対応できるよう準備しております。	84%	6%	0%	10%		
	9	○			パレットの啓発広報「パレットレター」やフェイスブックなどで活動の情報をお知らせしています。また、利用保護者には月々の行事等の予定を書面にてお知らせしております。	42%	10%	0%	48%		
	10	○			四国中央市個人情報保護条例を遵守し、個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。	90%	0%	3%	6%		個人情報の取り扱いには細心の注意を払っていますが、ご不明な点がございましたら問い合わせください。
非常時等の対応	1	○			職員については係内研修を実施しております。保護者への周知につきましては、利用時に配布する「入園のしおり」に対応について掲載させていただいております。	55%	13%	3%	29%	実際したことや、マニュアルを頂いたことがない為	小集団ご利用の方には利用開始時に「入園のしおり」を配布させていただいております。
	2	○			月々に職員で避難経路や誘導の手順等を確認しています。消防署の指導に基づいた避難訓練も年1回実施しています。	26%	6%	6%	61%	実際したことや、マニュアルを頂いたことがない為	非常時に備えた訓練の計画や様子などについても随時お伝えできるようにしていきたいと思っております。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
非常時等の 対応（ 続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○			関係機関の研修会に参加したり、職員会議で話し合いをもったりして、適切な支援ができるよう研修しております。						
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	○			身体拘束適正化検討委員会で検討、リスクの高い場合のみ、本人または家族への説明同意を得て行います。記録等も行います。						
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○			必要な児童には、主治医からの指示に基づきマニュアルを作成するようしております。						
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○			ヒヤリハットを作成し、職員間で共有し、同じような事案がおこらないよう努めています。						